

令和3年度当初予算における新規・充実事業予算の要求内容と査定結果【事業実施を見送ったもの】

(単位：千円)

環境政策局予算要求の状況			検討が必要な事項	今後の対応
事業名	事業概要	要求額		
(新規) 京都市環境保全活動センターにおける展示物更新事業	環境共生市民協働事業基金（旧環境保全事業振興基金）を活用し、「2050年までに二酸化炭素排出量正味ゼロ」の実現に向け、市民ひとりひとりが京都の未来を守る行動を考えるきっかけづくりにつながるような展示内容にリニューアルする。	110,000	事業内容・実施手法の検討	より効果的な展示内容及び適切な実施時期について引き続き検討する。
(新規) スマートフォンアプリを活用した「環境にやさしい行動」の促進事業	スマートフォンアプリ等を活用し、脱炭素型ライフスタイルにつながる市民の「環境にやさしい行動」をポイント化する仕組みを作ることによって、自身が取り組んだ実績による二酸化炭素削減量を可視化して把握できるようにする。	16,400	事業内容・実施手法の検討	より効果的・効率的な実施手法について、引き続き検討する。
(新規) AIを活用した、ごみ分別減量自動会話プログラム「ごごみチャット」	ごみの発生抑制及び分別・リサイクルの方法等について、ごごみちゃんに扮するAIが24時間自動応答するチャットボットサービス（AIを活用した自動会話プログラム）を開発し、「ごごみネット」及び「ごごみアプリ」上で配信する。	7,000	事業内容・実施手法の検討	チャットボットサービスの導入については、各局がそれぞれ導入するのではなく、市全体として引き続き検討する。